

## 第5学年国語科学習指導案

日 時 平成27年10月 6日 (火) 5校時  
児 童 男子14名 女子13名 計27名  
指導者 小川口 潤

- 1 単元名 本のショーウィンドウを作って、椋鳩十作品を友達にすいせんしよう  
教材名 「大造じいさんとガン」(光村図書)  
補助教材 「椋鳩十えぶんこ」(あすなる書房), 「椋鳩十動物童話集」(小峰書店) 他

### 【付きたい力】

- ◎ 登場人物の相互関係や心情の変化、情景描写などの優れた叙述をとらえ、自分の考えをまとめる力。(読むこと エ)

### 【単元を貫く言語活動】

本のショーウィンドウを作って、椋鳩十作品を友達に推薦する。

## 2 単元を貫く言語活動とその特徴

本単元を貫く言語活動として、「本のショーウィンドウを作って、椋鳩十作品を友達に推薦する。」を位置づけた。この言語活動は、「読むこと」の言語活動例「エ 本を読んで推薦の文章を書くこと。」を具体化したものである。

本単元で取り上げる「本のショーウィンドウ」は、自分が読んだ椋鳩十作品を友達に推薦する目的で作成する。自分の選んだ本を推薦する「おススメの文」と「キャッチコピー」, 「あらすじ」, 「人物関係図」, 「印象に残った表現」, 「印象に残った場面」などのコーナーを位置付ける。これらのコーナーを作成するためには、登場人物の相互関係や心情の変化、情景描写などの優れた叙述から自分の考えをまとめることが必要である。また、それぞれのコーナーを作成するにあたって、考えたことを友達と交流することで、作品に表現された心情や情景について友達の考えと比較したり、友達の考えを取り入れたりしながら、自分の考えを広げたり深めたりする学習を展開していく。

したがって、本単元でねらう「登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめること。」(読む エ), 「本や文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすること。」(読む オ) を実現するのにふさわしい言語活動であると考えられる。

## 3 単元について

### (1) 児童について

5年生では、「なまえつけてよ」を読み、登場人物同士の関係が、出来事を通して変わること捉える学習をした。登場人物の気持ちを読み取るために、心情表現の他に、会話文や人物の表情や様子、行動に着目するとよいことを確かめた。自分と比べての感想をまとめ、それを伝え合うことで読みを深めた。また、「広がる、つながる、わたしたちの読書」の学習では、本のポップを作って、これまで読んだ本から1冊選んで、友達にすすめる活動を行った。

登場人物の人物像と、人物同士の関わりに気を付けて読むことはできるようになってきている。また、相手意識をもって読んだり、推薦するために表現したりすることができるようになってきた。

しかし、登場人物の人物像や相互関係について、場面の描写などの叙述を基に考えたり、直接書かれていない心情について想像したりする力は十分とはいえない。

## (2) 単元構成及び教材について

### ① 教材について

本作品には、狩人「大造じいさん」とガンの頭領「残雪」との間に繰り広げられる生存のための厳しい闘争の中で、人間と動物という関係を超えた関わり合いの様子が描かれている。残雪を「たかが鳥」と見くびっていた大造じいさんが、残雪との知恵比べから、残雪が仲間を命がけで救う姿、傷つきながらも敵から逃げない堂々とした姿に心を打たれ、「ただの鳥に対してのような気がしませんでした。」と変容する。

場面は年ごとに区切られ、時や場所、登場人物の相互関係をつかみやすい。また、色彩や比喩などの表現技法が使われ、情景描写によって大造じいさんの心情を読み取ることができる。情景、場面についての描写、登場人物の相互関係や心情を捉え、優れた叙述について、自分なりの考えをまとめさせたい。

本単元では、「大造じいさんとガン」の作者である椋鳩十の作品を並行読書材として用いる。

### ② 単元構成について

導入 ・関連図書紹介 ・「本のショーウィンドウ」を作って推薦するという課題を設定 ・推薦したい本を選ぶ 並行読書	展開 ・「大造じいさんとガン」の登場人物の相互関係や情景などの叙述に着目しながら読み、「本のショーウィンドウ」のパーツ作りを進める。 ↓ ↑ ↓ ↑ A⑤			完成した「本のショーウィンドウ」で本を推薦し合う。
	発展 教科書の読みを生かし、自分が選んだ本で「本のショーウィンドウ」を構成していく。	B⑥	B⑧	

第一次では、学習課題「本のショーウィンドウを作って、お気に入りの椋鳩十作品を友達にすいせんしよう」を設定し、学習の見通しをもたせる。

第二次では、教材文「大造じいさんとガン」で、場面の描写などの叙述を基に「本のショーウィンドウ」の各コーナーの作り方を全員で学ぶ。教材文で「本のショーウィンドウ」のコーナーを1つ作り、そのすぐ後に自分で選んだ本の読みに適用するという展開と、1単位時間に教材文で学び、次の時間に自分で選んだ本の読みにその学習を適用する展開の2つのパターンを組み合わせる。

第三次では、自分の選んだ本で「本のショーウィンドウ」を完成させる。出来上がった「本のショーウィンドウ」は、しばらく椋鳩十作品コーナーに展示する。

### (3) 指導にあたって

#### ① 主体的な学習を展開するために

単元の導入でブックトークを行う。椋鳩十作品の読み聞かせをしたり、椋鳩十の生い立ちを話したりすることで、椋鳩十の作品に興味をもたせるようにする。また、教師が作成した「本のショーウィンドウ」で本の推薦を行うことでゴールを具体的にイメージさせ、「本のショーウィンドウ」作りに対する児童の関心を高めていく。

入れ子構造を基本に学習を進めていく。各時間で学習した読みを、自分が選んだ本に適用することで、ゴールとの結び付きを意識しながら学習を進められるようにする。

#### ② 確かな読みを保障するために

「本のショーウィンドウ」で、自分の選んだ本を友達に推薦する目的で、各時間に1つのコーナーを作っていく。ねらいに合った叙述を効果的に扱うために、各コーナーで視点を1つに絞って作品を読むようにする。

また、デジタル教科書（指導者用）を電子黒板と組み合わせて使用する。教科書そのものを大きく表示して、読ませたい場所や書き込む場所を色分けして囲んだり、線を引いたりして、視覚的に確認することができる。また、教科書の写真やイラストを拡大表示して見せたり、ワークシートを画面に表示して操作しながら考えたりすることもできる。このようにして、児童の学習内容の理解を助けられるようにする。

#### ③ 交流を意欲的に進めるために

自分が選んだ本を読む場面においては、同じ本を選んだ児童でグループを作って交流しながら、考えを広げたり深めたりできるようにする。

第三次で作成した「本のショーウィンドウ」は、椋鳩十作品コーナーを作って展示して、児童の本の選書に役立てる。また、自分の推薦が友達の選書に役立ったことを実感できるようにする。

## 4 単元目標

- 推薦しようと考えた理由を明らかにしながら、おすすめする本を読み返したり、推薦する相手を明確にして、その本の魅力を伝えたりしようとしている。 【関心・意欲・態度】
- ◎ 登場人物の相互関係や心情、情景描写などの優れた叙述に着目して、自分の考えをもって読むことができる。 【読む エ】
- 本や文章を読んで考えたことを互いに交流し合い、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 【読む オ】
- 作品の中の優れた表現について、語感や言葉の使い方に対する感覚などについて関心をもって読むことができる。

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

## 5 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
<ul style="list-style-type: none"> <li>推薦しようと考えた理由を明らかにしながら本を読み返したり、推薦する相手を明確にして本の魅力を伝えたりしようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>お気に入りの椋鳩十作品を推薦するために、登場人物の相互関係や心情、情景描写などの優れた叙述に着目して、自分の考えをもって読んでいる。(エ)</li> <li>本や文章を読んで考えたことを交流し、自分の考えを広げたり深めたりしている。(オ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>作品の中の優れた表現について、語感や言葉の使い方に関心をもって読んでいく。(イ(カ))</li> </ul>

## 6 単元の指導と評価計画 (全 10 時間)

次	時	学 習 活 動	評 価
第一 次	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習課題「本のショーウィンドウを作って、お気に入りの椋鳩十作品を友達にすいせんしよう」を設定し、学習の見通しをもつ。</li> <li>ブックトークによる椋鳩十作品の紹介を聞く。</li> </ul>	<b>関</b> 椋鳩十とその作品に関心をもち、作品を読もうとしている。 [発言, ノート]
	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>「本のショーウィンドウ」で推薦するために、設定や場面ごとの出来事を表に整理し、会話文と行動の変化から、中心人物の変化を読み取り、「あらすじ」をまとめる。</li> </ul>	<b>読</b> 場面の出来事の描き方の変化に着目して、物語の展開について理解を深めている。 [発言, ワークシート]
第二 次	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>「本のショーウィンドウ」で推薦するために、登場人物に関わる描写に着目して、「人物関係図」を作成する。</li> </ul>	<b>読</b> 場面の变化や登場人物の心情の動きに着目して、登場人物の相互関係について考えている。 [発言, ワークシート]
	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>「本のショーウィンドウ」で推薦するために、情景描写から、中心人物の心情の変化を読み取り、「印象に残った表現」をまとめる。</li> </ul>	<b>読</b> 情景描写に着目して、その表現から登場人物の心情を考えている。 [ワークシート] <b>言</b> 情景描写について、語感や言葉の使い方に関心をもっている。 [ワークシート]
	5 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> <li>「本のショーウィンドウ」で推薦するために、「大造じいさんとガン」の心情の変化や相互関係の変化に着目し、「印象に残った場面」を選び、選んだ理由をまとめる。</li> </ul>	<b>読</b> 中心人物の心情の変化や、相互関係の変化に着目して、「印象に残った場面」を選び、選んだ理由をまとめている。 [ワークシート]

	6	○ 「本のショーウィンドウ」で推薦するために、前時の学習を生かし、自分の選んだ本を読み、中心人物の心情の変化や相互関係の変化に着目して「印象に残った場面」を選び、選んだ理由をまとめる。	<b>読</b> 中心人物の心情の変化や、相互関係の変化に着目して、「印象に残った場面」を選び、選んだ理由をまとめている。 [ワークシート]
	7	○ 結末部の中心人物の行動を見つめ、作品の主題を話し合う。 ○ 「本のショーウィンドウ」で推薦するために、主題から「キャッチコピー」と「おすすめ文」を考える。	<b>読</b> 結末部の中心人物の行動をみつめ、作品の主題を自分なりにまとめている。 [ノート]
	8	○ 前時の学習を生かし、自分が選んだ本を読んで、作品の主題を自分なりにまとめる。 ○ 「本のショーウィンドウ」で推薦するために、主題から「キャッチコピー」と「おすすめ文」を考える。	<b>関</b> 友達に推薦するために、本の魅力を伝えようと意欲的に「本のショーウィンドウ」を作っている。 [本のショーウィンドウ]
	9・10	○ 自分が選んだ本を推薦するために、「大造じいさんとガン」で学習したことを生かして、「本のショーウィンドウ」を完成させる。 ○ 完成した「本のショーウィンドウ」を鑑賞し合い、推薦された本を読む。	<b>関</b> 友達に推薦するために、本の魅力を伝えようと意欲的に「本のショーウィンドウ」を作っている。 [本のショーウィンドウ]
第三次			

## 7 本時の指導

### (1) 目標

中心人物の心情の変化や相互関係の変化に着目して、「印象に残った場面」を選び、選んだ理由をまとめることができる。

### (2) 展開

段階	学習内容と活動 ◇発問 ・予想される児童の反応	○支援 ・留意事項 ☆評価
つかむ5分	1 大造じいさんの心情の変化に着目して、「本のショーウィンドウ」の「印象に残った場面」のコーナーをつくることを確認する。	・ 単元の導入で示した「本のショーウィンドウ」の拡大モデルを提示して見通しをもたせる。
	2 本時の学習課題を把握する。	
	登場人物の心情や関係の変化に着目しながら、一番印象に残った場面を選び、選んだ理由をまとめよう。	

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">ふかめる 35分</p>	<p>3 印象に残った場面を選ぶ。</p> <p>◇ 印象に残った場面を選びましょう。</p> <p style="text-align: center;">(読みの視点)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>○登場人物の心情の変化がよくわかる。</p> <p>○登場人物の関係の変化がよくわかる。</p> </div> <p>4 選んだ場面と、選んだ理由を交流する。</p> <p>◇ 自分の思いをはっきりさせるために、選んだ場面と、選んだ理由を交流しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大造じいさんが残雪を見送る場面が印象に残った。いまましい鳥だと思っていた残雪に、「堂々とたたかおう」と言うようになったから。</li> <li>・ 大造じいさんが「おおい、ガンの英雄よ」と言ったところが印象に残った。前は「たかが鳥」と言っていたから。</li> <li>・ 残雪が仲間を助けるためにはやぶさとたたかう場面が印象に残った。大造じいさんが、いまましいと思っていた残雪を、ただの鳥ではないと思うようになったから。</li> </ul> <p>5 「本のショーウィンドウ」にまとめる。</p> <p>◇ 自分が選んだ「印象に残った場面」とその理由を「本のショーウィンドウ」に書きましょう。</p>	<p>○ 中心人物の心情の変化や、登場人物の相互関係の変化をとらえるために、行動や会話、心情についての叙述を基に考えさせる。</p> <p>・ 「変化の前」、「変化した後」、「変化したきっかけ」が分かる叙述、印象に残った場面に付箋を貼る。</p> <p>☆ 中心人物の心情の変化や、登場人物の相互関係の変化に着目して、「印象に残った場面」を選び、その理由をまとめている。</p> <p style="text-align: right;">〔ワークシート、発言〕</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">まとめる 5分</p>	<p>6 本時のまとめと振り返りをする。</p> <p>◇ 登場人物の心情や関係の変化に着目しながら、印象に残った場面を選んで、理由をまとめることができた。</p> <p>◇ 今日の学習の振り返りを書きましょう。</p> <p>7 次時の予告をする。</p> <p>◇ 自分が選んだ本で、「印象に残った場面」のコーナーを作りましょう。</p>	<p>・ &lt;振り返りの観点&gt; 友達との交流から学んだこと。</p>

(3) 板書計画

十月六日（火）  
「本のショーウィンドウ」を作って、お気に入りの椋鳩十  
作品を友達にすすんで見せよう。

大造じいさんとガン

椋 鳩十

（課題）

登場人物の心情や関係の変化に着目しながら、  
一番印象に残った場面を選び、選んだ理由をま  
とめよう。

○印象に残った場面を選ぶ

- ・ 大造じいさんの心情の変化がよくわかる。
- ・ 大造じいさんと残雪の関係の変化がよくわかる。

変化の前↓はじめ（青）

変化の後↓おわり（青）

変化のきっかけ↓きっかけ（赤）

○友達と交流する

- ・ 自分と同じ理由かな
- ・ なぜ違うところを選んだのかな
- ・ 自信がないけど友達はどうか考えたのかな

○ショーウィンドウの「印象に残った場面」コーナー  
に書く。

私は、この場面が印象に残りました。

初め○だった大造じいさんが、△△をきっかけに、  
終わりでは□□になったのからです。